

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ステップ・モモ			
○保護者評価実施期間	2025年 2月 17日		～	2025年 3月 7日 (回収の都合で14日まで延長)
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22名	(回答者数)	19名
○従業者評価実施期間	2025年 2月 17日		～	2025年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 17日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ステップ・モモでは、なるべく多くの指導員で子どもたちを支援できるようにと意識しており、常に5人～7人の指導員を配置している。	なるべく指導員1対利用者2以上の指導員配置を行い、子どもたちへの常に目の届く支援が行えるように心がけ、集団での行動を好まない子どもたちへの支援もできるようにしている。	児童指導員の資格を持つものは、さらなる知識の習得とより良い支援ができるようにスキルアップを心がけ、資格がない指導員は資格習得者に引けを取らないように強度行動障害支援者養成研修などの受講に参加できるようにしていく。
2	法人内に高齢者施設や障害者多機能型施設があり、更に地域の方たち及び高齢者、障害がある方たちが気軽に交流や参画できるようにと作られた「さんかくカフェ」という名前のバリアフリーもしっかりと設置されているため、合同イベントや一緒にお菓子作りなどの交流の機会があり、お互いの楽しみとなっている。	学校がある通常時は、どうしても活動時間にズレがあるため、なかなか機会を持つことができないので、時間を合わせられる学校の長期休みの際に季節にあった合同イベントが行われるようにお互いの事業所で誘い合っている。	長期休みごとにそれぞれの施設・カフェと早めに打ち合わせをしてイベントを計画し、毎回きちんと定期的に合同イベントが開催できるように担当を決めて細かいスケジュールと内容の検討が行えるようにしていく。
3	勉強会を実施する時に開催場所として自分の事業所だけでなく、木崎小学校前にある法人本社とその隣にあるさんかくカフェというバリアフリー設備がある建物を借りることもでき、研修内容も将来に向けた成人対象の障害者施設や生活介護や就労支援B型の職員、相談支援事業所の職員もいるため、いろいろと設定することができる。	自身の事業所での開催が少なくなってしまった理由が、地域で対象になるかも知れない方たちも知っておいた方が良くと思われる、「障害者年金についての知識」や「障害のある方たちの家族や親亡き後に関するいろいろな事について」など法人で担当していただいている障害に明るい社会福祉労務士の先生に講師になっていただき、法人全体及び地域の方々も参加できるような合同研修会の開催を行っている。	放課後等デイサービスでの研修開催がここ数年ほとんどない状態で、法人での研修会に参加する形で保護者の方たちにも案内を出し、参加を促していたが、今後は小中高生の保護者の方たちが主になると思われる研修に関してステップ・モモが主体となり、事業所での開催も増やしていけるように計画を進めていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流など、地域の他の子どもと活動する機会がほとんどない。	学校がある通常時については、時間的制限もあり移動などを考えると一緒に活動する機会を設けるのは難しい。また、近くの学童さんなどは、同じ公園で同時刻に遊ぶ時間が重なっても場所を譲ってくれず、自分たちの活動を優先しています的な雰囲気強く、なかなか接する機会が見出せていない。	本当は、地域の子どもたち同士の交流も必要だと思われるが、自己評価表の集計結果から保護者の方がたもそれほど希望されていないので、まずは強みでもある法人内での高齢者の方たちや成人障害者施設の方たちとの交流の機会を増やしていこうと考えている。
2	コロナ禍の頃から開催していなかった事業所内での保護者向けの研修会や保護者会を開催できていない。今回のアンケートや面談時の話の中でも開催の要望が多かった。	法人内での開催研修会や親御さん向けのイベントがあったため、そちらに頼ってしまう形になってしまっていた。また、進学勉強会なども他事業所に保護者ごと誘われ、そこに参加させていただき自事業所では開催しなかった。	事業所内での研修会、保護者会の開催のニーズがあるため、事業所で企画し実施して行こうと思う。そのために内容や開催日時に関する要望アンケートを取り、なるべく多くの保護者が参加できるように企画・開催を行いたい。
3	避難訓練・防災訓練の実施と内容がきちんと保護者に伝わっていないケースが多い。	定期的に年に2回以上実施しているが、通所日数が少ないお子さんだと実施日に当たっていなかったり、連絡帳での毎回の支援内容の確認がされていないご家庭に実施が伝わってなかったりしているため、きちんと実施していることが伝わっていない。	訓練は何回やってもいいものなので、在籍者全員が参加できるようにその時期1回・2回でなく、1週間通して訓練週間として実施するなど工夫していこうと思う。また、いつもの活動内容のようにSNSでの発信や事業所月間通信の臨時版の形でより発信していきたいと思う。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		2025/3/18				公表日 (事業所掲示・ホームページ)		
放課後等デイサービス ステップ・モモ		利用児童数 2025/2/17現在 22名				回収数 19名		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17	2	0	0	・クールダウンのための小部屋もあり、良いと思う。 ・安心感のあるスペースだと思う。 ・戸外での活動も取り入れてもらってありがたい。	利用人数もだいぶ増えたので、小さい方の部屋も有効的に使って支援していきたいと思います。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	18	0	0	1		
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	3	0	2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17	1	0	1		
適切 な支 援の 提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	5	0	0	・子どもの特性に応じた指導がなされているかわからない。	スタッフ全員でもう一度、それぞれの利用者の特性と個別支援計画、支援方法を確認し特性に応じた支援を行えるように意識していきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15	2	0	2		
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18	1	0	0		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18	0	0	1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17	0	0	2	・様々な行事やイベントに参加させていたでいて子どもはとても喜んでます。 ・定期的にかを入れてほしい内容を伝えたらプリントを作ってくれたり、子どもが飽きない様に工夫してくれる。	子どもからもう飽きたやまたやるのと言われないように何とかいろいろなパターンを増やしたり、新しいものを増やしたりする努力を続けています。
11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	5	7	4	3	・交流の機会があったよって聞いたことがない。 ・うちの子は通所曜日が少ないのでタイミングが合わなかっただけかも。 ・交流については良く知らない。 ・子どもとではないが、施設の高齢者や成人の障害者施設アトリエ・モモとのカフェで働く方との交流は家庭ではできない良い機会だと思った。 ・同じ法人のさんかくカフェとの交流があると良いと思う。	一番、ご意見をいただき、どちらともいえない・いいえ・わからないが多い項目でした。実際、交流の機会がなかなか時間的になかったり、予定が合わず難しい状態できておりません。その代わりに同じ法人内の高齢者施設（デイサービス）や成人の障害者施設アトリエ・モモとの交流の機会、できたばかりのピザカフェのさんかくカフェでのイベントを実施して行っています。その報告をもっと保護者や外部の方に向け発信していけるように努力していきます。	
保 護 者	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19	0	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18	0	1	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	3	0	3	・参加したことがないだけかも。 ・また、講習があれば参加したい。	単独での開催がなかなかできておりませんが、他の放課後等デイサービスでの勉強会に職員・保護者で参加させていただいたり、法人主催の研修会、情報提供会の開催は行って参加案内を出しております。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	19	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	2	0	1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	3	0	0	・職員によると、子どもが言っています。	利用者、指導員によって差がつかない様に注意していき、全員から共感的に支援されていると感じてもらえるようにしていきます。

への説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	3	8	6	・入って1年だが保護者会の開催はなかったと認識しています。	一番「はい」の回答が少なかった項目となりました。ここ最近、事業所単独の保護者イベントができておらず、他事業所での保護者同士の交流などしかなかったため、事業所内での保護者会開催ができるように計画と実施をしていきたいと思えます。
	19	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	2	0	2		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	2	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15	4	0	0	・毎月のモモ通信でみています。 ・モモ通信ありがとうございます。	毎月の様子はモモ通信と日々のインスタグラムで観ていただいておりますが、この自己評価の結果などがどこに載っているのか周知されていないようなので、手紙などでの告知を行います。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16	1	0	2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	1	2	4	・親は知らないが、子どもからはやっているのを聞いたことがある。 ・まだ、参加したことないらしいです。	年に数回、必ず行っておりますが、定期的に長期休みの時期が多く、なかなか参加できていない利用者の方もいますので、全員が実施できる日程と回数で対応していきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16	2	1	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	1	1	1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	18	1	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	16	3	0	0	・とても楽しんでます。 ・子どもはモモが大好きです。 ・毎回、行くのを楽しみにしています。	全員に楽しさと伝えてもらえるように頑張ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	19	0	0	0	・支援員の方々はとても親身に話を聞いてくれます。 ・親が心配している事にも細かく答えてくれます。 ・安心して任せられています。	満足しているのお声いただき有難いと感じております。感じていただけないと退所されたりしていますので、通われている全員の方につずっとそう思われるよう努力も続けていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス ステップ・モモ				公表日	2025年 3月 18日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		個別対応で相談室も支援時に使えるようにしてある。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		子どもが少ない日でも人員配置はきちんとされている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		<input type="radio"/>	現在の通所者の中にバリアフリーが必要な方がいないので不備は感じられないが、必要に応じて設置していける準備はしてある。	以前から設置してある手すりなどで子どもたちが遊んでしまい壊されてしまっているため、逆に使用していない箇所は外してしまっている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		広めの作業机や学習時も集中できるよう大きい訓練室以外も使えるようにしている。	通所人数などの関係で机の数を増やしたりしているため、狭く感じさせてしまう日もあるので注意しながら設置している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		いつでも使えるように小さい部屋を用意している。	小さい部屋はあるが、あまり自由にし過ぎて集団行動をせずそっちに行ってしまう機会を増やすだけになってしまうので使い方を検討している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		支援前のミーティングで活動内容について説明と質疑応答を行い、活動しやすいように相談している。	支援後の振り返りが少し足りていないため、支援後も時間を確保できるように工夫していきたい。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		今まで、回覧などによる各自の確認に比重を置いてしまっていたので、集計後にミーティング内での確認と検討会を行っている。	今回の結果から回覧だけで終わることや、一部スタッフ間での共有だけで終わっている項目もあったので全スタッフで確認できるようにしていく。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		支援前・支援後のミーティング、月1回行う全体ミーティングの時間を勤務として設け、スタッフに参加してもらっている。	支援後のミーティングが勤務時間の関係で常勤職員主体となっているため、ミーティング内容の報告などでカバーしていきたい。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		外部の評価は行ってもらったことがないので、機会を設けていけるようにしていきたい。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		外部研修や内部研修の参加希望や案内、市からの研修案内も必ず行い、参加者が参加できるような体制を整えている。	案内やお知らせをしているが、興味の差で参加しているスタッフとしないスタッフとに別れてしまっている。	
適切な+	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		今年からホームページだけでなく、他のSNSも活用して公表を行うようにしている。	5領域を踏まえたプログラムに関して時間的制限があり、常勤スタッフで作ってしまった経緯があるため、修正点は非常勤スタッフも交えて行いたい。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		支援中に子どもから情報を得て、面談時に保護者から意見を求めているが、当然のことなので特に工夫と言えるものはない。	保護者面談やアセスメント作成を常勤スタッフ中心に行ってしまうので、他のスタッフも経験していけるように工夫していきたい。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		日々のミーティング及び月1回の全体ミーティング内での処遇会議で各利用者の支援についての検討や問題点の洗い直しなどを行い、指導員全体で検討している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		計画作成後にミーティング内で内容の説明を行い、計画の共有と支援内容の確認を行っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		<input type="radio"/>		インフォーマルなアセスメントは定期的に行い確認しているが、フォーマルなアセスメントについてはご家族に任せているため、実施されないご家庭の情報は入ってこない。事業所内で実施できれば良いのだがその段階ではないため、課題となっている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		基本的にはすべてのサービスについて検討を行い、本人・家族からの要望もしっかりと聞き、取り入れて支援内容を設定している。	実際の所、小学生がメインでセルフプランのご家庭も多く、本人支援及び家族支援までの支援計画の利用者が多く、移行支援、地域支援・地域連携の設定がある利用社がほほいしない状態である。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		全体プログラムを常勤スタッフで作成し、日々のリーダーが日ごとの内容をかんがえて		

支 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		同じような内容の活動でも使用する道具を変えたり、メンバーを入れ替えたりして新鮮さを出していけるように工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別活動・集団活動をプログラムとして仕分けしていないが、それぞれの個別計画内の指導員の支援内容で個別・集団での活動について計画している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		日々、支援前・支援後ミーティングを実施し、支援前にその日の支援内容の確認・役割分担を行い連携できるようにしている。また支援後に振り返りを行い、その日の支援が上手くいったか反応がどうだったかなど振り返りをして。利用者側だけでなく支援者としてどうであったかの検証も行っている。また、個別支援ファイルに利用者の記録、業務日誌に支援内容、出来事の明記を日々行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		支援計画作成と同様に日々のミーティング及び月1回の全体ミーティング内での処遇会議で計画の見直しについても検討している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○		もともと特に意識して支援を行ってきたわけではないが、自立への支援と日常生活を充実させるべく活動として学習・戸外活動・余暇活動・創作活動を行い、その中で支援をしているため、必然的に組み合わせ合わせて行っている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		支援の中で何でも自由に選べるということはないが、室内でのグループ遊びや戸外での遊びをする時に何をして遊ぶ、誰と遊ぶという選択や月に数回、おやつ時に何種類かのお菓子の中から買い物を見立てて金額内で自分の好きな物を選ぶ形で支援内容に取り入れている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		管理者・児童発達支援管理責任者・担当者が対応して話や説明を行っている。	会議だと参加する準備として担当者会議などを行えるが、電話での問い合わせだと記録による話だけとなってしまっている。常勤スタッフ中心での対応となっている。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		支援体制はできているので、機会があれば連携を取っている。	支援体制はできているが、なかなか放課後等デイサービスからの発信が難しく感じられ受け身になってしまっている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		支援学校・支援級の利用者に関してはお迎え時に先生とのやり取りがあるため、対応ができていて何かあれば、連絡もいただける。	普通級の利用者に関しては、学校の先生との関与がほばないため、連携が取りにくいのが現実となっているため、保護者を通じて取れる機会を増やしている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			入所の時期と切り替えが4月からとなっているため、ドタバタしている時期でもあるため保護者からの情報や連携を取るタイミングがつかめていないので実施できていない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			実際に実習などで体験されているので、相手方事業所から求められるケースが少なく、法人内事業所だったり、連携が多い事業所からの提供実績しかない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		療育センターに出張カンファレンスで数回来ていただいでアドバイスをを受けたり、療育遊具の提案をしてもらったりしている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		地域の子どもの交流機会がない分、同じ法人内の高齢者施設や障害者事業との合同行事を企画し実施している。	なかなか機会と時間的余裕がなく今までにほとんどできていない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		区内の通所介護研修会及び交流会には必ず参加し、ジュニア・ヤングミドル合同の全体会などにも参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		普段の様子は、連絡帳で伝え、気になる点があれば電話やメールなどで報告し、相談、検討している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			個別対応で家族支援を行うことはできているが、集団での研修会はできておらず、保護者同士の交流会もしてほしいという希望もあるため、次年度は実施していきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		入所契約時に契約書・重要事項説明者を使いながらしっかりと事業所の説明、料金の説明を行っている。また、加算などの変更時には書面の配布を行い、契約時との変更点の説明を行っている。	

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		個別支援面談で学校での様子、お家での生活の様子、ステップ・モモでの活動の様子を擦り合わせてその時点で優先事項を確認して支援内容を検討している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		個別支援計画書作成時の保護者面談で前回の計画の達成状態を踏まえ、次の半年の支援内容を一緒に考えている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		常に電話での相談や連絡帳での相談に対応し、必要ならば面談を実施してアドバイスを行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	事業所単体のイベントや交流会の実施が少なかつたり、来ていなかたりする分。法人内で合同で研修会などを行って参加を促している。	保護者会など研修以外のイベントを行っておらず、保護者同士の交流も支援できていない。今後実施できるようにしていきたい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		常に電話や送迎時にいただいたお話から相談に乗れる体制を作っており、迅速に対応できるように準備している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月のステップ・モモ化発行のモモ通信で前月の活動報告やイベントや連絡事項の告知を行い、昨年度からはインスタでの写真・動画による投稿も活用していている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報は、きちんと個別ファイルにて管理して毎日書庫に施錠もして管理している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		保護者への伝達は、送迎時や直接eメールや電話にて行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	毎年、地域の児童委員である民生委員の方々をお招きして放デイの見学会及び障害制度の説明会を実施している。	ここ何年か、事業所による地域住民を招待できるイベントが開けていないので、実施できるようにしていきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルの作成と職員への周知は毎年の研修で行っている。	家族への周知として訓練をしていること自体が伝わっていない家庭も何人かいるのできちんと実施報告を行い、理解していただけるようにしていく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		スタッフの個別ロッカーには会社から支給の災害時避難職水が入っており意識させていると共に定期的な訓練もきちんと行っている。	BCPの内容の共有と訓練が勤務日の少ないスタッフに十分できていないため、早急に解決が必要な課題となっている。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		入所時に保険調査票で既往歴や服薬について詳しく教えてもらい対応している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		実際には、医師の指示書が必要な利用者は財政していないが、入所契約時にアレルギーについて家族からの通院履歴を含めた調査を行っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			制度に基づいた計画の作成や研修、訓練を設備などの設置を行っているが義務だからという意識のレベル行っているため、意識の向上が必要。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		家族との連携は取れているが、取り組み内容などの周知ができていないのと利用者へもできていないため、間接的な周知もできていないため、利用者への周知も行っていく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット発生時にきちんと簡易報告書を作成し、全員で回覧行い、情報の共有と再発防止を行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		年2回の定期的な研修会と外部研修参加者による報告会を行い、虐待に防止に関する知識の共有を行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		法人の半年に1度及び事例発生時のリーダー会議前に委員会を実施。身体拘束の可否について話し合っている。	実際には身体拘束が必要な利用者の通所が今までにないため、身体拘束の必要性よりも受入れ体制の整備に課題があると感じている。	